

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人榎原福祉会 榎原保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

2021 年 10 月 26 日

総 評	<p>榎原保育園は、昭和49年に地元住民の長年に亘る要望により公設民営として60名定員で開設され、平成17年に社会福祉法人榎原福祉会として認可された後も、地域の方々による役員構成を背景に、地域住民と園が協力しながら地域に根差した施設として今日に至っています。</p> <p>一人一人の子どもと保護者に保育者、全てがより良い環境にある事が大切であると考えており、それが職員の子どもと保護者への丁寧なかかわりにつながると考えています。「保育園で育つ」をモットーに、子ども同士の関りや、色々な体験や経験をしながら生活習慣が身につくよう努めています。乳幼児の成長著しい時期に保護者の方と一緒に子育てできることに感謝し、大切な時間を共に協力しながら過ごしたいと考えています。</p> <p>子育て支援室を園庭東側に増設したり、60名定員から30名増の90名定員にする為に、隣接する民家を購入し増改築を実施した際にも、地域の信頼があり近隣住民の理解のもと進める事が出来ています。立地する地域でも少子化の影響が出始めていますが、地域との信頼関係を優先的に心がけて来たことで、園運営の安定につながっています。</p> <p>園長は、榎原保育園で保育士として働いてきた経験から感じていたアイデアを、職員の働きやすい環境の整備にも活かしています。また、今まで培ってきた保育内容と共に、地域との繋がりも継続性を持って取り組んでいます。若手からベテランに至るまで、管理者とのコミュニケーションを大切にし、子どもたちが過ごす園の場が充実した環境となるよう努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい環境として、土曜日出勤の回数を減らしたり、週 37.5 時間就労化や、ノンコンタクトタイムが取れるよう人員体制を整備するなど、様々な取組を明文化し実施しています。年 1 回の管理者との職員面談では、面談シートをもとに本人の目標と共に、意向や就労状況について話し合い、改善に繋がるよう取り組んでいます。職員の平均勤続年数が 17 年を超えている事からも、働きやすい環境の整備に努めている事が伺えます。 災害発生時の対応マニュアルを常時携帯出来る手帳サイズで作成し、全職員に配布し、実際に災害が発生した時に手順に沿って対応出来るよう取り組んでいます。 保育者が園児に丁寧に関わる姿があり、子どもが自分で考え、生活習慣が身につくよう促している様子がありました。また、朝の会では多くの子どもに言葉がけをする保育者の姿があり、一人一人の子どもを受容した保育に努めています。

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none">・定期的に全体的な計画の評価を実施し、次の作成に生かすよう取り組まれるとより良いでしょう。・内科健診・歯科健診を定期的実施し、必要に応じて、その内容を保護者に知らせています。今後は、健診結果を全ての保護者に伝えるとより良いでしょう。・今まで虐待案件になるような園児がいなかった事もあり、文書化されたマニュアルが無く、色々な参考資料をもとに対応出来るようにしています。今後は、その内容について職員間で共通理解が持てるようマニュアル等を整備されるとより良いでしょう。
---------------------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。